

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 31	
企画名	患者経験にもとづくプライマリ・ケア質改善 ～JPCAT を使ってみよう～
日時	2016年6月12日(日) 13:30～15:00
会場	第14会場 (台東区民会館 9階 特別会議室(大))
企画責任者	生坂政臣 (千葉大学医学部附属病院総合診療部)
定員	40名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>医療の質・安全委員会では、プライマリ・ケアにおける診療の質および患者安全の向上を目標に、これまで診療所の質改善についてのワークショップを開催してきました。今回は患者経験 (Patient Experience) という質評価の指標をテーマに取り上げます。患者経験は、受療中遭遇した具体的な事象に関するデータを患者から収集し分析することにより、質向上のための具体的な課題の発見・多施設との比較・経時的な質の変化の把握を可能にするものです。また患者経験は、Population Health、Per Capita Cost と併せて医療の質の Triple Aim に掲げられるほど、その重要性が認識されており、特にプライマリ・ケアにおいて国際的に広く活用されています。患者経験の評価には計量心理学的特性が検証された尺度が用いられることが多く、我が国でも Japanese version of Primary Care Assessment Tool (JPCAT) の開発が完了しています。本ワークショップでは、参加者が患者経験を自施設の質改善に活用できるようになることを目指します。</p> <p>【概要】</p> <p>まず患者経験の意義や海外での活用例、JPCAT の開発経緯や内容、実際の診療所におけるアセスメント事例をレクチャー形式で紹介します。次いで事例検討を通して、実際の質評価と結果の分析に関して体験しながら学びます。続いて患者経験を基に質改善を行う手法について、シックス・シグマをはじめとしたフレームワークを紹介し、それらの活用法を体験します。また質改善プロセスが途中でうまくいかなかった場合の対処法の考察により、実行可能な方略を発案できるようになることを目指します。</p>	